

事務事業名 生涯学習ボランティア事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：646

施策：	05	生涯学習社会の推進	財務コード	01090602-10-537
基本事業：	02	地域で活躍する人材の発掘と育成	担当部	教育部
基本事業の成果指標	地域活動の担い手の発掘・育成人数		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成10年度 ~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民		貴重な経験、豊かな知識、優れた技能を持つ人又は社会参加に意欲のある人を登録し、利用者の求めに応じて生涯学習ボランティアを派遣する。 次の業務を委託して実施。 生涯学習ボランティアの登録・派遣 生涯学習センターボランティア室の運営 開室：毎週月曜日～金曜日 9：30～16：30（祝日、年末年始等を除く） 広報・啓発（HPでの情報発信、広報紙の発行、活動PR等） 研修 未登録者を対象とした研修及び登録者を対象とした研修等を実施 パープルプラザフェスタへの参画  生涯学習ボランティアの登録分類：昔あそび、手品、レクリエーション、工作、軽運動、通訳、書道、郷土史、イベント支援など				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
生涯学習社会を推進するため、地域に根ざした生涯学習ボランティアの育成を推進することで、地域で活躍できる人材が育成され、主体的な活動が進んでいます。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
ボランティアバンク利用者数	人	23,963	23,960	30,000	30,000			30,000
ボランティアバンク活動者数	人	636	714	1,000	1,000			1,000

5. コスト								
事業費	計	千円	2,891	3,177	3,389	3,617		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般	千円	2,891	3,177	3,389	3,617		
正職員人工数	人工	0.2	0.2	0.2				
正職員人件費	千円	1,563	1,605	1,676				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	4,454	4,782	5,065	3,617			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	（状況）利用者数は3人減、活動者数は78人増となった。 （原因）活動者数増の要因としては、新型コロナウイルス感染症の5類以降に伴い、徐々に活動が戻っていること、広報紙「ボランティアバンク通信」の発行を年1回から年2回に増やし、ボランティアバンク登録者に送付し、啓発を行ったこと、研修会を昨年度よりも多く開催したこと等の効果があったと考えている。 また、令和6年度は、筑紫野市福祉ボランティア連絡協議会と共催で、カミーリヤにおいて一般の市民を対象としたジャンルを超えたボランティアの体験・交流会を開催し、ボランティア登録者や一般の市民との交流の場となったことも寄与したと考える（延べ534人来場）。							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし					
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり					
成果向上余地	大きい							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
新規のボランティア登録者が伸び悩んでおり、情報発信の強化等の取組が必要な状況。 令和7年度にコミュニティ推進課において、市内で活動するボランティア団体とボランティア活動に関心を有する市民を繋ぐポータルサイトを構築する予定。								

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
平成10年度から、ボランティア紹介事業として始め、平成12年度からボランティア派遣事業とした。 平成18年度から、筑紫野市ボランティアバンクの会に事業を委託している。				市民による自発的なボランティア活動の活性化と、生涯学習ボランティア活動として「ボランティアバンクの会」に委託している事業との連携を図るにあたり、無償・有償の格差をなくすため、派遣費（1日700円）を、平成30年度より「無償」とすることとした。				